

建築物内における空気中有害化学物質の総合管理に関する研究

目的

- ・住宅、オフィスや学校などにおける空気中有害化学物質の発生抑制と排出除去を対象として、材料選択、換気計画、施工及び運用段階における除去・低減、管理にかかわる総合的な技術を開発する
安全な空気環境の実現

背景・必要性

- ・シックハウスなど、室内空気汚染と健康影響の社会問題化
- ・海外におけるオフィスや学校などでの汚染と被害の顕在化
様々な空間での被曝に関する
現状把握と総合的対策の必要性

研究開発内容

- ・汚染及び被害実態の調査分析
- ・測定評価技術の開発
- ・材料情報整備と選択技術開発
- ・除去・対策技術の開発
- ・換気設計及び設備技術の高度化
- ・総合的空気環境設計管理技術の開発と普及方策提案

今後5年間の見通し、10年間の見通し

- ・危険性と濃度指標が明らかとなった化学物質を対象に研究開発（5年間）
- ・各種建築物における化学物質総合管理技術と体制を確立し、各種の技術・制度の普及促進（10年間の見通し）

環境分野への貢献度

- ・建築物内部の空気中有害化学物質の総合的管理と影響の最小化の実現を通して、国民の安全で健康な生活の確立に資する

全体計画・所要資金

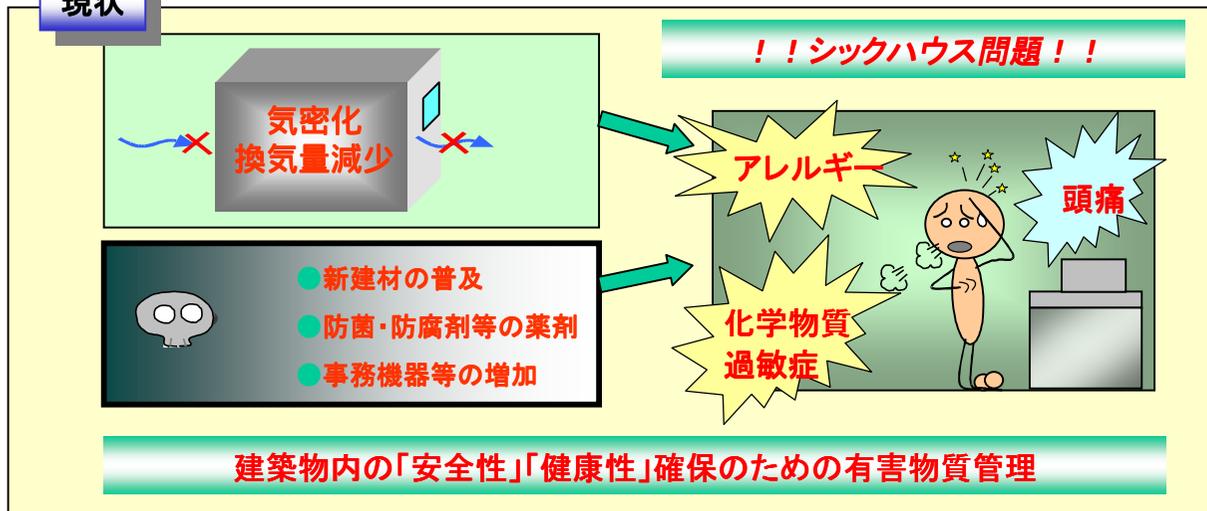
- ・5年間、30億円

実施体制

- ・国土交通省関係部局
- ・厚生労働省、経済産業省等との連携
- ・産・学、独法との連携

建築物内における空気中有害化学物質の総合管理に関する研究

現状



技術的課題

被害実態・発生源
の把握

適切な換気の
確保

汚染発生量の
抑制

測定・評価手段
の実用化

成果

各種有害物質に関する発生源・健康影響データベース

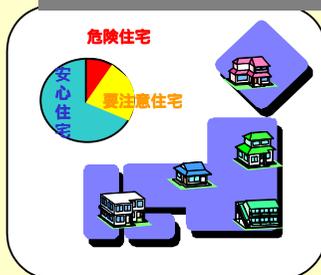
建築物の材料選択・内装設計に関するガイドライン

建築物の換気設計と運用に関するガイドライン

室内空気質の測定評価・表示指針

研究開発

被害実態とメカニズム
の解明



材料選択・内装設計の
発生量抑制評価手法
の確立



換気設計の
評価手法の確立



室内空気質の
測定・評価手法の
確立



建築物における空気中化学物質総合管理技術の提案